

糖尿病の基礎・臨床における 女性医師のキャリア形成 —実地医家の立場から—



本日のお話

1. 自己紹介・医師を志した理由
2. なぜ開業を考えたか？
3. 糖尿病専門クリニックを開業して
4. 女性であることのメリット
開業医のリスク・苦労した点

大病院での問題点

【患者サイドより】

- ① 待ち時間が長く、診療時間が短い。
⇒ ゆっくりと話が出来ない。
- ② 主治医が変わることが多い。
- ③ コメディカル（看護師、栄養士）も変わることが多く、いつも忙しそうにされていて相談しにくい。
- ④ 診療時間帯が平日（午前）に限られているため、仕事や学校を休まないといけない。
- ⑤ 予約を1回キャンセルすると次が行きにくい。
- ⑥ 病院に行くと気分が落ち込む。



**患者さんは仕方なく、我慢して通院している。
ドロップアウトが多くなる。**

大病院にいた時の悩み

【自分自身の問題として・将来を考えた時】

- ① 医局の人事の移動でいつどこに移動するかわからない
- ② 今後歳をとっていく中で、不規則な勤務に耐えうるか？
- ③ 先輩（他科）の女医さんはいつも疲れた姿でいた
- ④ 開業された先輩の女医さんははつらつとしていた
- ⑤ 大きな組織の中では、自分の要望が通らない
(時間外診療・患者会など)
- ⑥ 何のために私は医師になったのか？
将来どんな風に生きていくのか？



**ここでは自分が理想とする糖尿病医療は実現できない
開業しよう！**

本日のお話

1. 自己紹介・医師を志した理由
2. なぜ開業を考えたか？
3. 糖尿病専門クリニックを開業して
4. 女性であることのメリット
開業医のリスク・苦労した点

当院の特色

糖尿病専門の外来診療

CDEによるチーム医療



当院の診療方針

- 患者さんが安心して気持ちよく、治療が長続きできるクリニック
- “糖尿病とともに生きる患者さんの人生”を考えた診療

“元気を発信するクリニック”をモットーに

→糖尿病を通じて、

食やスポーツの楽しみを知っていただきたい

当院の特色

- 土曜日（毎週午前）、日曜日（月1日）の診療を行っている
- 予約診療制
- 看護師、管理栄養士、健康運動指導士は糖尿病療養指導士
- **糖尿病教室、個別栄養指導、調理実習（1型、2型）、運動教室を行っている**
- **患者会（歩の会・ヤングの会・子供の会）を行っている**

本日のお話

1. 自己紹介・医師を志した理由
2. なぜ開業を考えたか？
3. 糖尿病専門クリニックを開業して
4. 女性であることのメリット
開業医のリスク・苦勞した点

女性が糖尿病開業医に向いている点

- ① 治療の基本が食事や運動など、細かいアドバイスが出来る
- ② 男性の医師よりも話しやすい（性格もあるが）
- ③ 患者さんと長い付き合いになるので人生相談や家族の相談もある（子育て、嫁姑など）
- ④ 看護師、栄養士、医療事務など女性スタッフが多い、チーム医療で連携が取れやすい
- ⑤ 緊急が少ない、限られた時間内での診療

開業医のリスク

- ① 患者さんが来ないと経営が成り立たない、
借金の返済
- ② 医療以外の勉強が必要
(経営・スタッフ雇用・教育など)
- ③ 医師会や近隣医師との付き合い、連携
- ④ 入院がないため近隣の病院との連携が必要
- ⑤ 自分自身の健康管理
- ⑥ 学会参加のために休診しなければいけない

これまでに苦勞した点

- ① 34歳、勤務医の時に銀行からの融資が簡単ではなかった。女性だったため？若かったため？
- ② 生命保険、医師休業保険に加入出来なかった
- ③ スタッフ間の人間関係の調整
- ④ 母の急病・看病
→大学の医局から女医さんを派遣して頂いた
- ⑤ 一人で多くの患者さんを診る余裕がなくなった
→常勤の専門医（女医）2人体制にした

開業して16年

すべてがゼロからの始まりであり、
自分が求める糖尿病診療を一つずつ実現させていく
ことはとても大変でしたが、それ以上に遣り甲斐が
ありました。女性であることは糖尿病診療においては
むしろプラスであると思います。

多くの糖尿病患者さんのために、全国に輝く
女性糖尿病医が活躍されることを祈ります！